

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

若手や女性消防団員の情報発信及び消防分野ドローン活用講習会事業

自治体名

山形県

消防団名

—

1 事業の目的・必要性

本県の消防団員数は減少しており、10年間で3,442人減少している。
また、県内で発生した令和4年8月の豪雨災害、12月の土砂災害においてドローンの有用性が確認され、ドローンの活用等による情報収集能力の向上及び効率化が求められており、当事業の実施に至った

2 事業内容

(1) やりがいをもって活躍する若手や女性消防団員の情報発信

活躍する消防団員のインタビュー記事を県ホームページに掲載した他、パンフレットとして加入促進に活用した

(2) 教育機関での普及啓発

県内定着者が多い高等学校を訪問し、県の担当職員から消防団の制度の説明をした他、消防団長による講話を行った

(3) 消防分野ドローン活用講習会

災害現場で実際に活動する消防団員、消防吏員や市町村職員等が、ドローン活用への理解を深め、ドローンの操作を体験できる講習会を開催した

3 事業成果

(1) やりがいをもって活躍する若手や女性消防団員の情報発信

県内で活躍している消防団員のインタビューを10件行い、県ホームページで情報発信する他、パンフレットとして3,500部発行し、県内の市町村に配布を行った。実際の活動内容や団員の方がどういった事にやりがいを感じているかが伝わる内容となっており、入団意欲や入団後のイメージを持つことができる。

(2) 教育機関での普及啓発

県立置賜農業高等学校3年生59名に対し、県の担当職員からの説明のほか、地元である川西町消防団長から講話を行った。

(3) 消防分野ドローン活用講習会

災害現場で実際に活動する消防団員、消防吏員や市町村職員等が、ドローン活用への理解を深め、ドローンの操作を体験できる講習会を開催した。

○県内4地域で計7回実施

合計	参加人数		
	消防団員	消防吏員	市町村職員
34	26	6	2

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
パンフレットの発行部数	部	3,800	3,500	印刷単価の値上がりにより調整
教育機関の訪問件数	件	4	1	1校で説明会を実施し、3校に資料配布を実施
ドローン操作体験講習	地域	4	4	

パンフレット



ドローン講習(座学・実技)



高校での講話

